



千鳥の丘に



千鳥丘小学校 この一年

「つなぐ ～心・学び・伝統 そして 感謝～」

校長 横山 美智子

いよいよ最終号となりました。「つなぐ ～心・学び・伝統 そして 感謝～」をスローガンに進めてきた千鳥丘小学校最後の一年を抜粋して振り返ります。

「心をつなぐ」

◇毎週月曜日、運営委員会が中心となってあいさつ運動を行いました。この取組をきっかけに、「お願いします」「ありがとう」「ごめんなさい」と様々な場面で子供同士が思いやりの心で接し、力を合わせて助け合い、協力する児童の姿が増えていきました。

「学びをつなぐ」

◇2年生は生活科の町探検、3年生は総合的な学習の時間に「学校の宝」についての調べ学習、4年生は「環境チャレンジ10」など、身近なことを題材に学習を進めました。活動を通して子供たちは、今まで知らなかった学校の歴史や地域のこと、いつも身の回りにある何気ないことに気づき、興味・関心をもちました。

「伝統をつなぐ」

◇本校恒例の三大行事「千鳥ウォーク」「千鳥チャレンジラン」「千鳥ンピック」。感染防止対策のため「千鳥ンピック」は低、中、高に分かれての実施となりましたが、「千鳥ウォーク」「千鳥チャレンジラン」は天候にも恵まれ、保護者の皆様や地域の皆様にご協力いただき、無事行うことができました。子供たちは五感を働かせて故郷の魅力を感じ、目標をもって自分自身と勝負するなど貴重な体験となりました。

「感謝」

◇「59年間の感謝を伝えよう集会～地域のみなさんありがとう～」と題し、日頃お世話になっている地域の方をお招きし、集会を行いました。6年生が企画し、各学年で役割を分担。子供たちを温かく見守り、支え、励ましてくださっている皆様へ感謝の思いを替え歌や手紙などの形にして伝えました。

◇地域の皆様やPTAの皆様のご尽力により開催された閉校記念事業

「燈明・スカイランリリース」。2,000個の燈明で浮かび上がった

「ありがとう」の文字と300基のスカイランタンリリースによる

「希望の光」は、千鳥丘小学校59年間の歴史に関わってくださった

すべての皆様への「感謝」と“新”五位小学校へ子供たちの「夢と希望をつなぐ」を象徴する活動となりました。保護者の皆様、地域の皆様にはこの一年、そして59年間にわたり児童の健やかな成長と本校教育活動に格別のご高配を賜りましたこと、厚く御礼申し上げますとともに統合小学校並びに地域が今後ますます発展することを祈念申し上げます。

結びに、私事ではございますが、千鳥丘小学校に合わせて12年間在職させていただき、この学校で過ごした日々や児童、保護者、地域の皆様から学ばせていただいたことは私の宝物です。

本当にありがとうございました。



